

ただみ・モノとくらしのミュージアム 第3回テーマ展



ただみ・モノとくらしの
ミュージアム

2025
3/25^火 ~ 6/29^日

協力：瀧泉寺 (只見町黒谷)

只見町文化財
新指定記念

〈会津只見のヤマサキ資料〉と



渡部南嶽「山ノ神図」明治時代 (只見町宮瀨)

〈瀧泉寺聖教典籍〉



天正十九年
祐俊

くりからげんず 俱利伽羅剣図
げんじゆんぼうゆうしゆん 玄純房祐俊筆 1591年 (瀧泉寺蔵)

ただみ・モノとくらしのミュージアム

〒968-0602 福島県南会津郡只見町大倉字窪田30

TEL.0241-86-2175

E-mail: mono_kurashi_museum@hyper.ocn.ne.jp

入館無料

〈ご利用案内〉

開館時間 9:30~17:00 (入館は16:30まで)

休館日 月曜日 (祝日の場合は翌平日)

年未年始 (12月29日~1月3日)



ただみ・モノとくらしのミュージアム 第3回テーマ展

「只見町文化財新指定記念〈会津只見のヤマサキ資料〉と〈瀧泉寺聖教典籍〉」を開催します。只見町の指定文化財は、2025年現在30件あります。本テーマ展では、近年新たに指定された2つの文化財を取り上げます。指定後初展示の機会ですので、ぜひご覧ください。

会津只見のヤマサキ資料

ヤマサキとは……

山ノ神を祀る家のこと。集落の山ノ神の祭りなどで幣束を切ったり、狩猟者として山ノ神を信仰し、狩猟の儀礼をつかさどったりしていました。只見町内では5軒確認されています。



やまだらごんげんのまき 山立根元巻 江戸時代後期（只見町田子倉）



ヤマガミサマ〈祭壇〉（只見町黒谷）

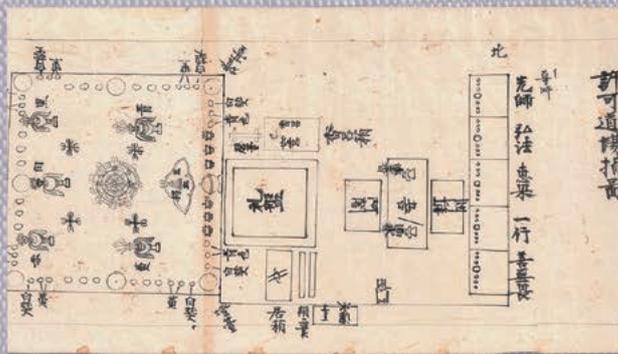


しよそんしゆじ 諸尊種子 玄純房祐俊筆 1591年（瀧泉寺蔵）

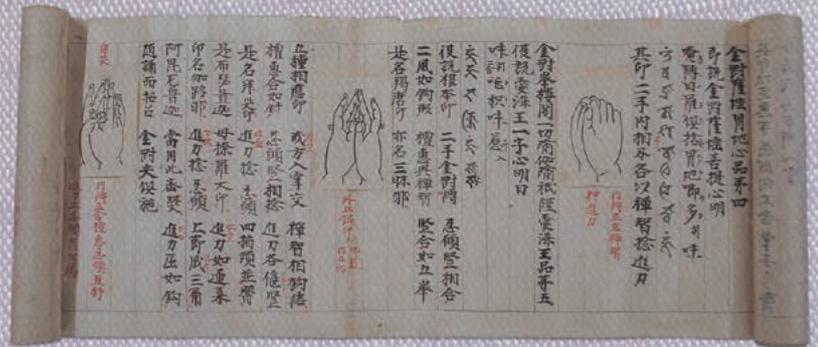
瀧泉寺聖教典籍

聖教典籍とは……

寺院の重要な仏教古典籍。「瀧泉寺聖教典籍」は、応永35年(1428)を最古として、711点あります。「神皇正統記只見本」を書写した玄純房祐俊がもたらしたものがほとんどです。



こかどうじょうさしず 許可道場指図 玄純房祐俊筆 1590年（瀧泉寺蔵）



ゆききょうりゆういん 瑜祇経立印 玄純房祐俊筆 1583年（瀧泉寺蔵）



公共交通機関でのアクセス

- 会津鉄道・会津田島駅から
定期路線ワゴン「自然首都・只見号」(11:05、15:00発)
「ただみ・モノとくらしのミュージアム前」下車(乗車60分)
- JR只見線・只見駅から
定期路線ワゴン「自然首都・只見号」(9:10、13:10発)
「ただみ・モノとくらしのミュージアム前」下車(乗車20分)
※運行時刻は2025年3月現在の情報です。最新の時刻表をご確認ください。

お車でのアクセス

- 東北自動車道・白河ICから88km、約1時間45分
- 東北自動車道・西那須野塩原ICから92km、約1時間50分
- 関越自動車道・魚沼ICから75km、約1時間50分(冬期間通行止)
- 磐越自動車道・会津坂下ICから81km、約1時間45分
※駐車場 20台/大型バス等は要事前予約